

新明解説

人事が変わらなければ 「変革リーダー」は育たない!

株式会社ドリームインスティテュート 代表取締役 上野 和夫

● 組織も人事も大転換のとき

多くの日本企業が“量の拡大競争”をしてきた結果、経営に行き詰まっている。グローバル競争の時代に突入し、ますます「他社が真似できない独自価値の提供とマーケットの創造」という経営テーマを突きつけられている。このテーマは“経営のコンセプトそのもの”そして“組織の価値観と仕組み”の“抜本的転換”を求められるので、その本質的な経営革新は容易なことではない。

現状を打破し、経営革新を推進するとき、最も重要なカギとなるのが「変革リーダーの育成」である。ただし「常に、顧客やマーケットと真正面から向き合い、満たされていない潜在ニーズを発見し、新しいことに挑戦する!」——その先頭に立って人と組織を動かす変革リーダーを育てるには、これまで日本企業の成長を支えてきた既存の人事の価値観や仕組みも大きく転換することが不可欠だ。

どこから、どうやって、着手すればよいのか？
その突破口を探ってみよう。

目次

- ▼本物の価値だけが求められる時代
- ▼マーケット創造型経営への大転換が必要な日本企業
- ▼すべての前提を疑い“再定義”が必要な時代
- ▼キーファクターは「変革リーダー」
- ▼育むべき力
～変革リーダーに不可欠な「3つの力」～
- ▼脱却すべき習性
～自分自身に「3つのNO」を～
- ▼ビジョンの達成とブレイクスルー
- ▼変革リーダーの最初の仕事は「上司を口説くこと」
- ▼キャリア開発の「2つの山」
- ▼次世代のリーダー像について合意しているか？
- ▼研修プログラムの再設計が必要だ
- ▼事業も人材も「3.0」の時代へ
- ▼「変わるか、経営!」「変わるか、人事!!」



● 上野和夫 (うえの かずお)

1951年 群馬県生まれ。一橋大学社会学部卒業。1974年 西武百貨店に入社し、広範囲にわたる人事業務を経験後、新人事制度導入プロジェクトリーダー、人材開発室長を歴任。2001年 同社100%出資の株式会社キャリアオン代表取締役社長に就任し、グループ内外にわたる人材育成事業を展開。2008年 株式会社ドリームインスティテュートを設立、代表取締役社長に就任。「マインド・ストレッチ・セッション」という独自のメソッドを用いて、流通・サービス業、自動車・半導体・服飾メーカーをはじめ、生活協同組合、自治体、省庁等幅広い業界の人材育成と経営改革のコンサルティング事業を行う。

著書に『イノベーションは現場から生まれる』(総合法令出版)、『人事のプロが書いた商売繁盛学“超現場主義”のすすめ』(現代書林)ほか。

<http://www.dream-institute.co.jp/>